

## 平成23年度の事業計画書

### 1 事業の実施方針

平成23年度は、千葉県がん診療連携拠点病院間のネットワークを強化しながら、がん医療の向上のための先端医療研究助成、医療海外研修などを継続するとともに、患者や家族、一般市民向けの公開講座、シンポジウムなども開催する。

小児がん患者へのサポートを継続するほか、新たに「骨・軟部腫瘍研究基金」を創設し、骨肉腫の治療などの研究を推進する。

通常の食事が食べにくいがん患者さん等に対し、ケアフードの開発や普及を進め、エビデンス作りに向けた研究も開始する。患者同士が気持ちを分かち合い、情報交換する場としての患者サロンへの助成支援も強化する。

東日本大震災の被災地に対して、医療チームを派遣するなどのサポートを継続する。

活動についての詳細をホームページに掲載し、新たに会員向け、医療施設向けの冊子を発行するなどして一般県民に必要ながん情報を効果的に提供するとともに、本法人に対する県民の理解を深めるための広報活動を継続する。

### 2 事業内容（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	事業名	事業内容
1	がん診療連携拠点病院間のネットワークの有効利用、連携強化支援	ネットワークの有効活用のためのソフト的支援、周辺医療、福祉機関の連携支援
2	がん患者等のQOLアップ支援	① ケアフードの開発、普及 患者さん向け試食会（シャーベット、ピューレ）、料理講座など。 ② ケアフードの調査、研究 ケアフードをもとにスタディチームを結成。
3	がん医療等の高度医療の教育、啓発	① ホームページの充実による有用情報発信 会員、拠点病院向け冊子なども発行  ② 海外研修支援
4	患者と家族のがん研究基金	① 先端がん医療研究助成支援 ② 小児がん患者への東京ディズニーランド課外授業助成支援 ③ 患者サロン活動助成支援 ④ にとな文庫助成支援 ⑤ がん予防展への支援

		⑥ 「非アルコール性脂肪性肝障害を合併する脂質異常症患者に対するエゼチミブの有用性」への研究助成支援
5	市民公開セミナー等の開催	① 第4回市民公開講座の開催 ② 千葉県がん患者大集合2011負担金
6	千葉がんシンポジウム	国内の著名ながん研究者等を招いて、公開シンポジウムを開催
7	「骨・軟部腫瘍研究基金」創設	千葉県がんセンターの整形外科グループなどによる骨・軟部腫瘍の基礎・臨床研究への助成支援
8	総務省 在宅緩和医療推進事業 への協力	千葉緩和ケア地域連携研究会、千葉市医師会在宅医療部会、診療所、訪問看護ステーションなどが連携した遠隔医療システムの実証実験。
9	ピア・サポーター養成・支援事業	がん患者同士（ピア）によるサポート体制強化のためのサポーターの養成や情報交換への支援。
10	東日本大震災の被災地への支援	東北地方の被災地への医療物資支援や、医療支援チームの派遣。